



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月7日

上場会社名 株式会社 フライングガーデン  
 コード番号 3317 URL <http://www.fgarden.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野沢 八千万

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 片柳 紀之

TEL 0285-30-4129

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,031	4.0	105	64.2	144	55.8	91	66.7
2019年3月期	7,321	3.1	295	33.7	327	29.2	275	13.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	63.55		4.8	4.4	1.5
2019年3月期	190.75		15.5	9.9	4.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	3,200	1,942	60.7	1,344.33
2019年3月期	3,344	1,894	56.6	1,310.78

(参考) 自己資本 2020年3月期 1,942百万円 2019年3月期 1,894百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	249	234	100	290
2019年3月期	347	162	142	375

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		30.00	30.00	43	15.7	2.4
2020年3月期		0.00		20.00	20.00	28	31.5	1.5
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

次期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 有
修正再表示	: 無

(注)詳細は添付資料P. 12「3. 財務諸表及び主な注記(5)財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	1,449,168 株	2019年3月期	1,449,168 株
期末自己株式数	2020年3月期	3,899 株	2019年3月期	3,899 株
期中平均株式数	2020年3月期	1,445,269 株	2019年3月期	1,445,327 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料のP. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法及び決算説明会について)

当社は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、本年度はアナリスト向け決算説明会を行わないことといたしました。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計上の見積りの変更) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. その他 .....	12
(1) 役員の異動 .....	12
(2) その他 .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化等により先行きの不透明感が高まる中、2020年1月以降には、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛など景況感が急激に悪化しました。

外食業界におきましては、停滞する個人消費、原材料価格の上昇や人手不足を背景とした人件費高騰に加え、消費税増税の影響など、依然として経営環境は厳しい状況のなか、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きな逆風となりました。

このような環境下で、当社は、爆弾ハンバーグを中心とした商品力の向上に取り組んでまいりました。

店舗数につきましては、当事業年度中に台風による水害の影響により水戸北IC店を閉店いたしましたので、当事業年度末の店舗数は60店舗となりました。

当事業年度の業績につきましては、販売促進に努めたものの、既存店の売上高が伸び悩み、かつ、つくば西平塚店の改装休業、台風による被害や新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛による売上高減少等により、売上高は7,031,646千円(前年同期比4.0%減)となりました。

利益面では、原価率の低減やコストコントロールに努めたものの、売上高減少に伴う売上総利益の減少を補えず、当事業年度の営業利益は105,670千円(前年同期比64.2%減)、経常利益は144,920千円(前年同期比55.8%減)、当期純利益は水戸北IC店の台風被害にかかる保険差益73,678千円、つくば西平塚店の移転新築による収用補償金87,180千円及び同店舗の固定資産圧縮損71,809千円ならびに減損損失56,138千円の計上等により、91,841千円(前年同期比66.7%減)となり、減収減益となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末の資産の状況につきましては、流動資産は前事業年度末と比べて145,972千円減少し、718,629千円となりました。これは主として現金及び預金の減少によるものであります。固定資産につきましては前事業年度末と比べて1,530千円増加し、2,481,607千円となりました。これは主として有形固定資産の増加によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて144,441千円減少し、3,200,236千円となりました。

負債の状況につきましては、流動負債は前事業年度末と比べて184,896千円減少し、777,840千円となりました。これは主として未払金の減少及び圧縮未決算特別勘定の減少によるものであります。固定負債につきましては前事業年度末と比べて8,028千円減少し、479,477千円となりました。これは主として長期借入金の減少によるものであります。

この結果、総負債は前事業年度末に比べて192,925千円減少し、1,257,317千円となりました。

純資産の状況につきましては、前事業年度末に比べて48,483千円増加し、1,942,919千円となりました。これは主として配当金の支払及び当期純利益の計上によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べ84,869千円減少し、290,750千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果得られた資金は、249,652千円(前年同期比28.1%減)となりました。これは主に税引前当期純利益176,436千円及び減価償却費182,405千円を計上したことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果使用した資金は234,504千円(前年同期比44.1%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出286,491千円を計上したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果使用した資金は100,017千円(前年同期比30.0%減)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出56,558千円及び配当金の支払額43,459千円を計上したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。

当社店舗では、新型コロナウイルス感染抑止策である外出自粛要請等により、大きな影響を受けております。業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

当社におきましては、この厳しい状況を乗り越えるべく固定費の削減等に取り組んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達が必要が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	687,582	525,251
売掛金	76,791	84,201
商品及び製品	4,555	4,529
原材料及び貯蔵品	31,769	35,945
前払費用	58,743	62,010
その他	5,160	6,691
流動資産合計	864,602	718,629
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,618,373	3,703,660
減価償却累計額	△2,712,186	△2,776,901
建物(純額)	906,186	926,759
構築物	869,422	866,676
減価償却累計額	△707,906	△712,242
構築物(純額)	161,516	154,434
機械及び装置	338,828	367,706
減価償却累計額	△234,650	△257,615
機械及び装置(純額)	104,178	110,091
車両運搬具	618	4,275
減価償却累計額	△618	△2,114
車両運搬具(純額)	0	2,160
工具、器具及び備品	404,869	396,611
減価償却累計額	△384,690	△385,718
工具、器具及び備品(純額)	20,178	10,892
土地	274,513	274,513
リース資産	3,401	—
減価償却累計額	△3,401	—
リース資産(純額)	—	—
建設仮勘定	12,906	8,816
有形固定資産合計	1,479,480	1,487,668
無形固定資産		
借地権	141,083	137,691
ソフトウェア	28,647	35,161
ソフトウェア仮勘定	2,786	1,980
電話加入権	4,576	4,576
その他	2,713	1,267
無形固定資産合計	179,808	180,676

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
投資その他の資産		
差入保証金	302,923	283,025
長期前払費用	18,255	28,833
繰延税金資産	184,202	184,050
保険積立金	315,745	315,745
その他	4,097	4,097
貸倒引当金	△4,437	△2,489
投資その他の資産合計	820,787	813,262
固定資産合計	2,480,076	2,481,607
資産合計	3,344,678	3,200,236
負債の部		
流動負債		
買掛金	221,686	191,387
1年内返済予定の長期借入金	56,558	35,768
未払金	323,851	298,593
未払費用	58,902	52,408
未払法人税等	49,475	50,364
未払消費税等	47,964	72,164
ポイント引当金	10,100	9,400
賞与引当金	62,400	55,004
預り金	19,580	4,315
前受収益	21,498	4,992
圧縮未決算特別勘定	87,180	—
その他	3,539	3,442
流動負債合計	962,737	777,840
固定負債		
長期借入金	40,124	4,356
退職給付引当金	124,628	127,347
役員退職慰労引当金	170,076	173,561
資産除去債務	129,204	151,139
受入保証金	23,318	22,966
長期前受収益	154	106
固定負債合計	487,506	479,477
負債合計	1,450,243	1,257,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	579,900
資本剰余金		
資本準備金	496,182	496,182
資本剰余金合計	496,182	496,182
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	824,593	873,077
利益剰余金合計	824,593	873,077
自己株式	△6,240	△6,240
株主資本合計	1,894,435	1,942,919
純資産合計	1,894,435	1,942,919
負債純資産合計	3,344,678	3,200,236

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	7,321,877	7,031,646
売上原価		
原材料及び製品期首たな卸高	31,750	29,028
当期製品製造原価	571,109	545,264
原材料仕入高	1,741,947	1,685,147
合計	2,344,807	2,259,440
原材料及び製品期末たな卸高	29,028	32,241
売上原価合計	2,315,779	2,227,199
売上総利益	5,006,097	4,804,446
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	20,222	18,879
販売促進費	29,306	27,534
ポイント引当金繰入額	△400	△700
消耗品費	246,169	247,534
役員報酬	81,660	83,760
給料及び賞与	797,014	772,853
賞与引当金繰入額	61,500	53,744
雑給	1,573,997	1,604,375
役員退職慰労引当金繰入額	5,453	5,911
退職給付費用	12,194	8,954
法定福利費	214,847	209,544
福利厚生費	50,087	50,749
教育採用費	38,452	36,277
地代家賃	499,167	495,743
賃借料	1,415	1,350
修繕費	83,183	87,094
水道光熱費	424,710	382,656
支払手数料	78,066	109,862
減価償却費	152,399	163,011
その他	341,336	339,640
販売費及び一般管理費合計	4,710,787	4,698,776
営業利益	295,310	105,670
営業外収益		
受取利息	1,219	979
受取賃貸料	43,583	40,373
貸倒引当金戻入額	1,907	1,948
固定資産受贈益	5,364	—
受取補償金	7,849	15,721
雑収入	9,492	10,547
営業外収益合計	69,416	69,569
営業外費用		
支払利息	1,442	814
賃貸収入原価	33,818	28,715
雑損失	1,585	788
営業外費用合計	36,846	30,318
経常利益	327,881	144,920



(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	2,000	—
収用補償金	—	87,180
保険差益	—	73,678
特別利益合計	2,000	160,859
特別損失		
固定資産除却損	—	1,394
固定資産圧縮損	—	71,809
減損損失	—	56,138
特別損失合計	—	129,343
税引前当期純利益	329,881	176,436
法人税、住民税及び事業税	108,346	84,442
法人税等調整額	△54,167	152
法人税等合計	54,179	84,594
当期純利益	275,701	91,841

【製造原価明細書】

		前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		460,047	80.6	444,967	81.6
II 労務費		31,649	5.5	28,813	5.3
III 経費		79,413	13.9	71,483	13.1
当期総製造費用		571,109	100.0	545,264	100.0
当期製品製造原価		571,109		545,264	

(注) ※主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費 (千円)	19,333	18,026
消耗品費 (千円)	38,741	32,568

(原価計算の方法)

原価計算の方法は、総合原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	579,900	496,182	496,182	592,252	592,252	△6,080	1,662,254
当期変動額							
剰余金の配当				△43,360	△43,360		△43,360
当期純利益				275,701	275,701		275,701
自己株式の取得						△160	△160
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							—
当期変動額合計	—	—	—	232,340	232,340	△160	232,180
当期末残高	579,900	496,182	496,182	824,593	824,593	△6,240	1,894,435

	純資産合計
当期首残高	1,662,254
当期変動額	
剰余金の配当	△43,360
当期純利益	275,701
自己株式の取得	△160
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—
当期変動額合計	232,180
当期末残高	1,894,435

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	579,900	496,182	496,182	824,593	824,593	△6,240	1,894,435
当期変動額							
剰余金の配当				△43,358	△43,358		△43,358
当期純利益				91,841	91,841		91,841
自己株式の取得						—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							—
当期変動額合計	—	—	—	48,483	48,483	—	48,483
当期末残高	579,900	496,182	496,182	873,077	873,077	△6,240	1,942,919

	純資産合計
当期首残高	1,894,435
当期変動額	
剰余金の配当	△43,358
当期純利益	91,841
自己株式の取得	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—
当期変動額合計	48,483
当期末残高	1,942,919

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	329,881	176,436
減価償却費	173,180	182,405
減損損失	—	56,138
固定資産除却損	—	1,394
固定資産売却損益(△は益)	△2,000	—
収用補償金	—	△87,180
保険差益	—	△73,678
固定資産圧縮損	—	71,809
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△400	△700
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,869	△7,396
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,453	3,484
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,477	2,719
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,907	△1,948
受取利息及び受取配当金	△1,219	△979
支払利息	1,442	814
売上債権の増減額(△は増加)	△10,793	△7,410
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,650	△4,150
前払費用の増減額(△は増加)	3,829	△3,295
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,905	△30,299
未払金の増減額(△は減少)	△5,193	△17,734
未払費用の増減額(△は減少)	1,064	△6,494
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,139	24,200
その他	△7,012	△27,459
小計	495,275	250,676
利息及び配当金の受取額	28	22
利息の支払額	△1,340	△760
保険金の受取額	—	85,566
補償金の受取額	33,300	—
法人税等の支払額	△180,051	△85,852
営業活動によるキャッシュ・フロー	347,212	249,652
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△260,006	△310,000
定期預金の払戻による収入	260,000	387,461
有形固定資産の取得による支出	△172,241	△286,491
有形固定資産の売却による収入	2,000	—
無形固定資産の取得による支出	△14,868	△17,899
差入保証金の差入による支出	△2,000	△420
差入保証金の回収による収入	26,468	20,314
その他	△2,113	△27,469
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,762	△234,504
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△99,210	△56,558
自己株式の取得による支出	△160	—
配当金の支払額	△43,489	△43,459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△142,859	△100,017
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	41,590	△84,869
現金及び現金同等物の期首残高	334,030	375,620
現金及び現金同等物の期末残高	375,620	290,750

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等として計上していた資産除去債務について、閉店による退去の新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額22,284千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、この変更に伴って計上した有形固定資産の一部については減損損失として処理をしたこと等により、当事業年度の営業利益及び経常利益が1,194千円減少し、税引前当期純利益が3,714千円減少しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社はファミリーレストラン事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,310円78銭	1,344円33銭
1株当たり当期純利益	190円75銭	63円55銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	潜在株式がないため記載しておりません。	潜在株式がないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	275,701	91,841
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	275,701	91,841
普通株式の期中平均株式数(株)	1,445,327	1,445,269

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

(1) 役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

該当事項はありません。

(2) その他

該当事項はありません。